

2019年12月期 通期決算 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white rectangular box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned at the top right corner of the letter 'G'.

AGC株式会社

2020年2月5日

Your Dreams, Our Challenge

■ 2019年12月期 通期決算	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.4
2. セグメント別・地域別の状況	P.13
■ 2020年 通期業績の見通し	P.22
付属資料	P.30

2019年12月期 通期決算

1. 業績のポイントと主要項目

売上高	15,180億円	前年比 49 億円(0.3%)の減収
営業利益	1,016億円	同 189 億円(15.7%)の減益
税引前利益	762億円	同 522 億円(40.6%)の減益
親会社の所有者に帰属する		
当期純利益	444億円	同 452 億円(50.4%)の減益

- 新規連結の効果があったものの、ユーロ安などの為替影響で減収
- ディ스플레이用ガラスおよび東南アジアにおけるクロールアルカリ製品の販売価格下落に加え、一時的な製造原価悪化要因により減益
- 税引前利益は北米の自動車用ガラス事業に係る固定資産の減損損失の計上により減益

連結純損益計算書

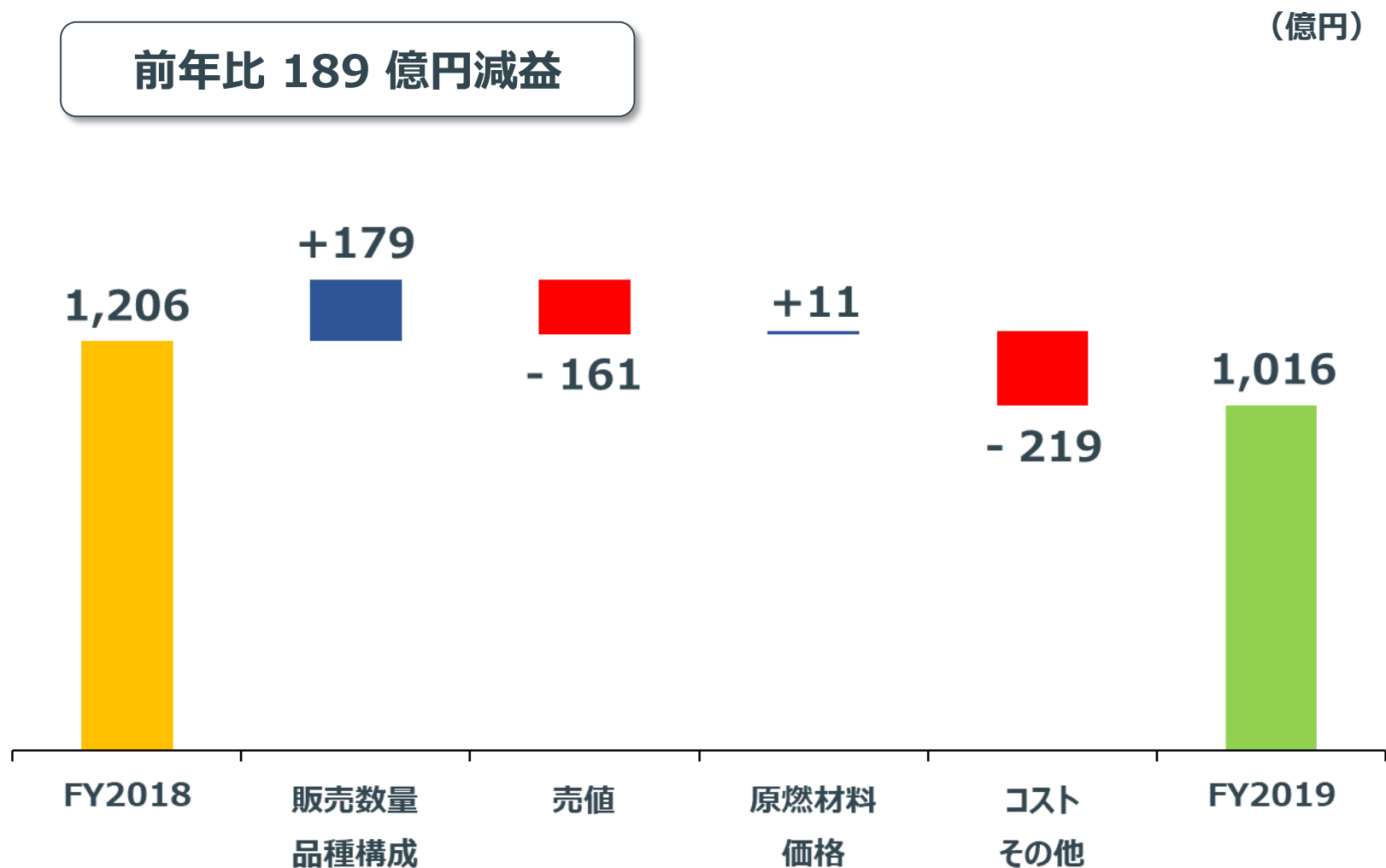
	4Q			通期			(億円)
	FY2018	FY2019	増減	FY2018	FY2019	増減	
売上高	3,968	3,943	▲ 25 *	15,229	15,180	▲ 49 *	
営業利益	335	280	▲ 55	1,206	1,016	▲ 189	
その他収支	▲ 15	▲ 32		19	▲ 256		
事業利益	321	248	▲ 73	1,225	760	▲ 465	
金融収支	53	10		59	2		
税引前利益	374	257	▲ 116	1,284	762	▲ 522	
法人所得税費用	▲ 78	▲ 63		▲ 264	▲ 207		
当期純利益	296	195	▲ 101	1,020	555	▲ 465	
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	247	156	▲ 92	896	444	▲ 452	
非支配持分に 帰属する当期純利益	49	39		124	111		
為替レート	JPY/USD	112.90	108.76	110.43	109.05		
(期中平均)	JPY/EUR	128.78	120.32	130.42	122.08		
原油	\$/BBL (Dubai)	67.4	62.1	69.4	63.5		

* うち、為替差影響は、4Q 売上高▲90億円、通期売上高▲304億円
連結範囲変更影響は、4Q 売上高+74億円、通期売上高+223億円

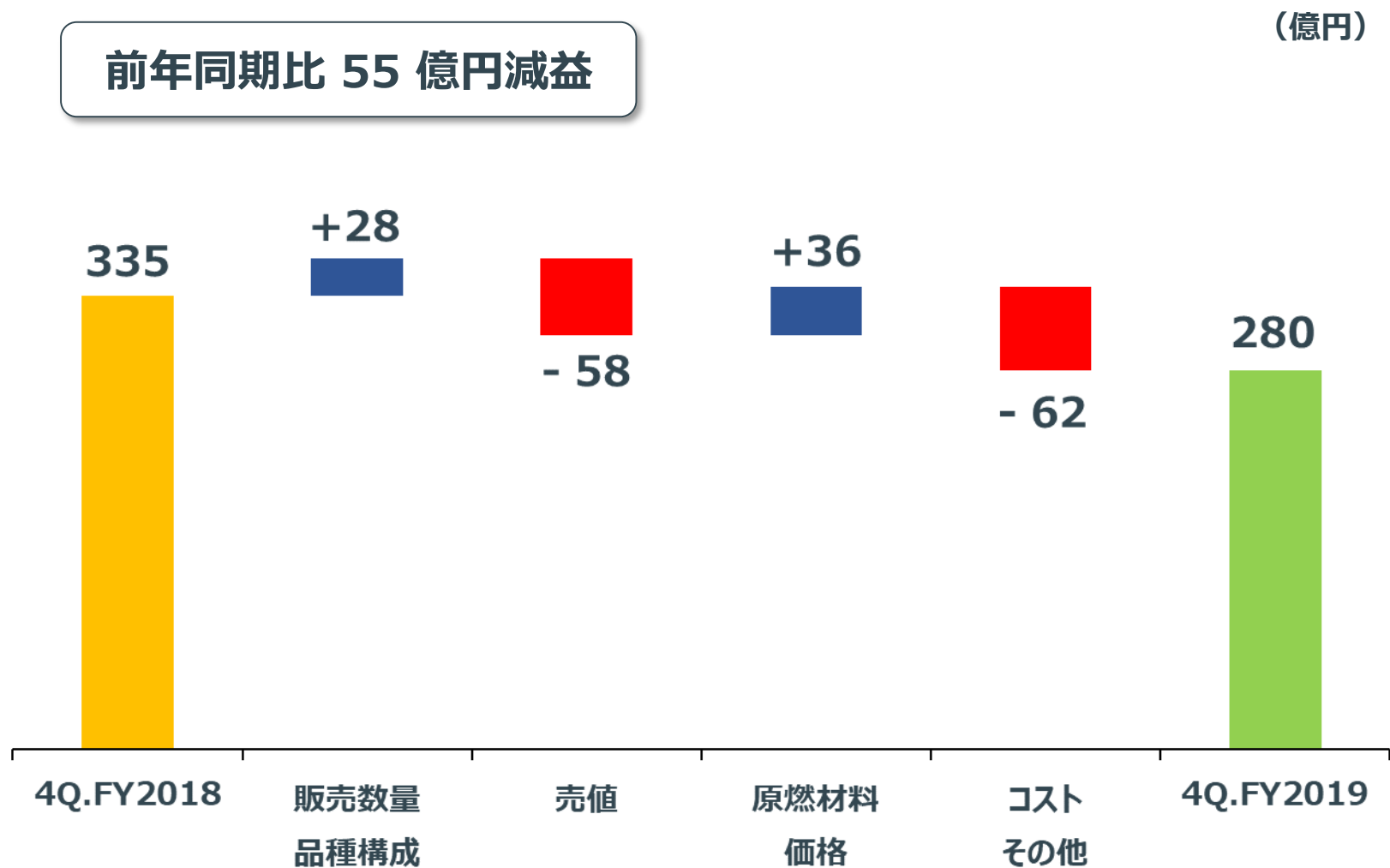
セグメント別業績 前年同期比較

	4Q			通期			(億円)
	FY2018	FY2019	増減	FY2018	FY2019	増減	
売上高	3,968	3,943	▲ 25	15,229	15,180	▲ 49	
ガラス	1,953	1,837	▲ 116	7,698	7,429	▲ 269	
電子	670	760	+ 90	2,478	2,767	+ 288	
化学品	1,295	1,275	▲ 20	4,844	4,758	▲ 86	
セラミックス・その他	202	222	+ 20	790	832	+ 42	
消去	▲ 152	▲ 151	+ 0	▲ 581	▲ 606	▲ 25	
営業利益	335	280	▲ 55	1,206	1,016	▲ 189	
ガラス	44	▲ 4	▲ 49	228	93	▲ 136	
電子	78	87	+ 9	237	256	+ 19	
化学品	209	191	▲ 18	711	630	▲ 82	
セラミックス・その他	4	7	+ 3	28	39	+ 10	
消去	0	▲ 0	▲ 1	0	▲ 0	▲ 1	

営業利益増減要因分析(FY2019 vs. FY2018)



営業利益増減要因分析(4Q.FY2019 vs. 4Q.FY2018)



連結財政状態計算書

(億円)

	2018/12	2019/12	増減	
現金及び現金同等物	1,235	1,138	▲ 97	
棚卸資産	2,770	2,912	+ 142	
有形固定資産・無形 資産及びのれん	12,547	13,516	+ 969	← ・IFRS16号適用による 使用権資産の期首 影響 + 389億円 ・為替差影響 ▲114
その他	5,806	5,788	▲ 18	
資産合計	22,358	23,354	+ 996	← ・為替差影響 ▲177
有利子負債	5,418	6,028	+ 611	←
その他	4,404	4,500	+ 96	・IFRS16号適用による リース負債の期首影響 + 392億円
負債の部	9,822	10,528	+ 706	
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,372	11,571	+ 199	
非支配持分	1,164	1,255	+ 91	
資本の部	12,536	12,826	+ 290	
負債及び資本合計	22,358	23,354	+ 996	
D/E比率	0.43	0.47		

連結キャッシュフロー計算書

	(億円)			
	4Q		通期	
	FY2018	FY2019	FY2018	FY2019
税引前利益	374	257	1,284	762
減価償却費及び償却費	298	385	1,217	1,434
運転資金増減	12	63	▲ 270	▲ 166
その他	▲ 7	▲ 328	▲ 338	▲ 111
営業活動によるCF	676	378	1,893	1,919
投資活動によるCF	▲ 752	▲ 314	▲ 1,945	▲ 1,826
フリーキャッシュフロー	▲ 76	63	▲ 52	93
有利子負債増減	▲ 28	▲ 197	544	113
支払配当	—	—	▲ 249	▲ 266
その他	▲ 38	6	▲ 209	▲ 20
財務活動によるCF	▲ 66	▲ 190	87	▲ 173
現金等に係る換算差額	▲ 22	28	▲ 64	▲ 17
現金等の増加額	▲ 163	▲ 99	▲ 29	▲ 97

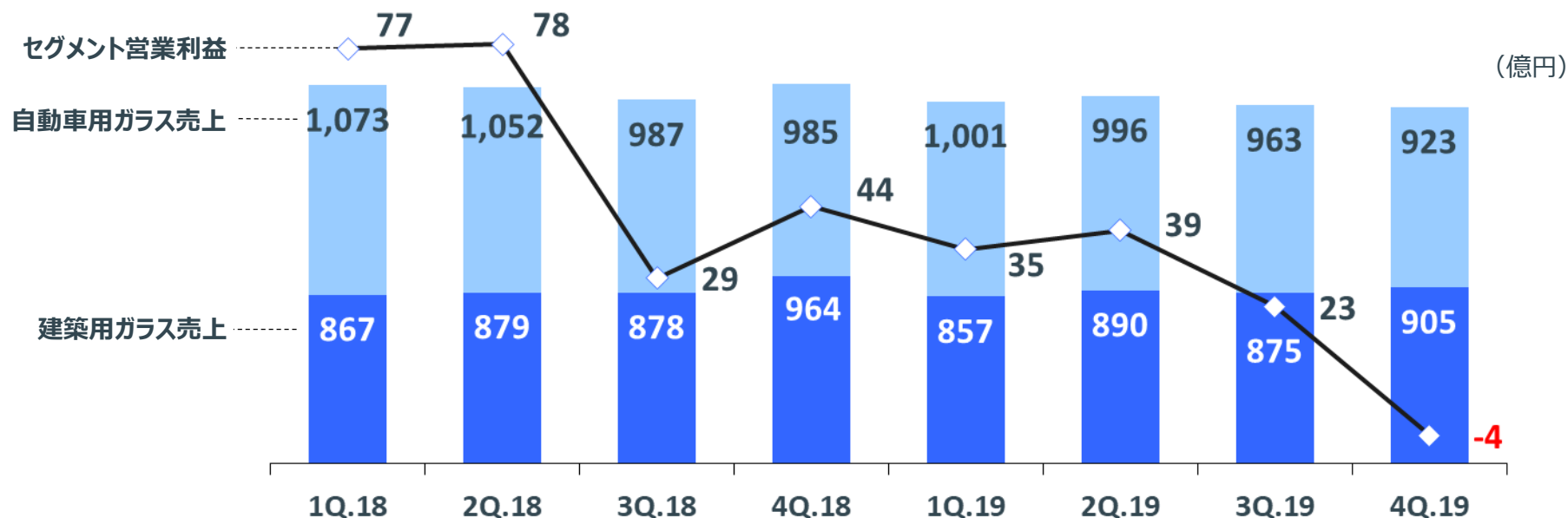
	4Q		通期	
	FY2018	FY2019	FY2018	FY2019
	(億円)			
設備投資額	583	567	2,306	2,077
ガラス	302	245	892	804
電子	139	165	794	558
化学品	139	148	610	690
セラミックス・その他	4	9	12	25
消去	▲ 0	▲ 0	▲ 1	▲ 1
減価償却費	298	385	1,217	1,434
ガラス	111	130	474	525
電子	99	132	407	473
化学品	85	111	325	394
セラミックス・その他	3	11	12	43
消去	▲ 0	▲ 0	▲ 1	▲ 1
研究開発費	119	125	458	475

2. セグメント別・地域別の状況

ガラス セグメント (1)

	4Q			通期			(億円)
	FY2018	FY2019	増減	FY2018	FY2019	増減	
売上高	1,953	1,837*	▲ 116	7,698	7,429*	▲ 269	
建築用ガラス	964	905	▲ 59	3,589	3,527	▲ 62	
自動車用ガラス	985	923	▲ 61	4,097	3,883	▲ 214	
(セグメント間)	4	9		13	20		
営業利益	44	-4	▲ 49	228	93	▲ 136	

* うち、為替差影響は、4Q 売上高▲73億円、通期売上高▲268億円 連結範囲変更の影響は、4Q 売上高なし、通期売上高なし



【前年比】

〔売上高〕 減収

建築用ガラス

- 日本、南米の出荷は堅調なものの、ユーロ安の影響で減収

自動車用ガラス

- ロシアを除く地域での出荷減、ユーロ安の影響で減収

〔営業利益〕 減益

建築用ガラス

- 東南アジアの設備立ち上げおよび
日本・アジアを除く地域での稼働調整による製造原価悪化により減益

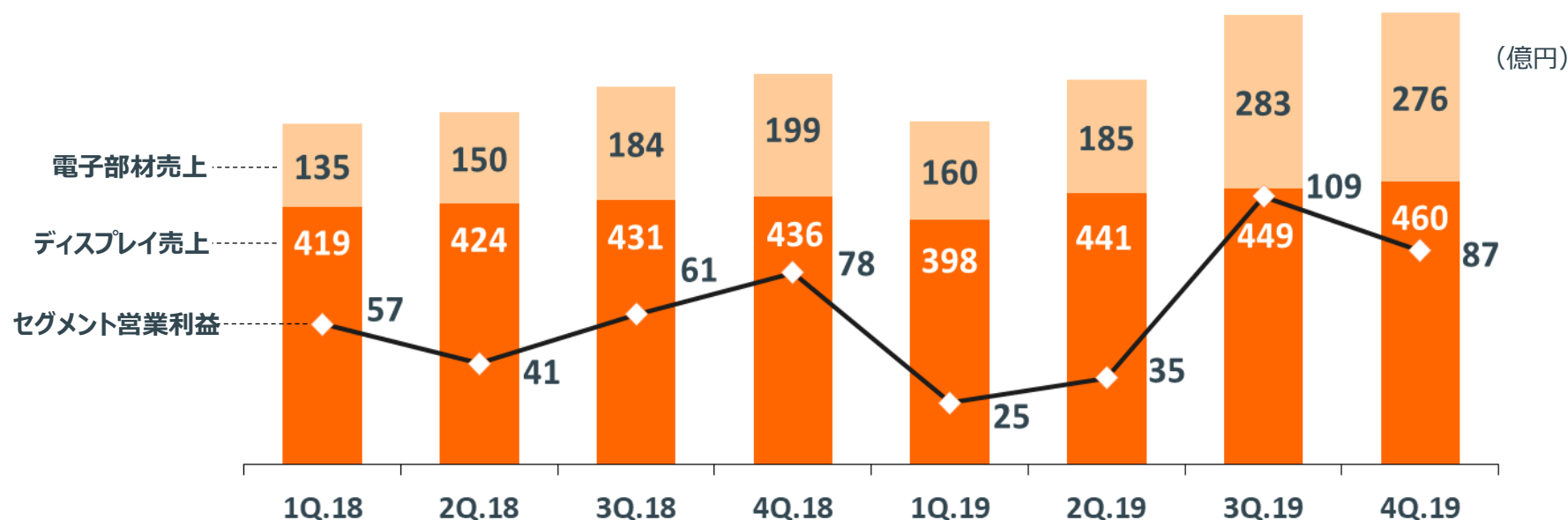
自動車用ガラス

- 日本における生産効率悪化によりコスト高
- 19年1Qに日本の素板生産設備の修繕を実施し製造原価上昇

電子 セグメント (1)

	4Q			通期			(億円)
	FY2018	FY2019	増減	FY2018	FY2019	増減	
売上高	670	760*	+ 90	2,478	2,767*	+ 288	
ディスプレイ	436	460	+ 23	1,710	1,747	+ 37	
電子部材	199	276	+ 77	669	905	+ 236	
(セグメント間)	34	24		99	115		
営業利益	78	87	+ 9	237	256	+ 19	

* うち、為替差影響は、4Q 売上高▲1億円、通期売上高▲3億円 連結範囲変更の影響は、4Q 売上高+45億円、通期売上高+147億円



【前年比】

〔売上高〕 増収

ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板の出荷数量は前年比で増加、販売価格は下落幅縮小
- ディ스플레이用特殊ガラスはDragontrail®の出荷が増加

電子部材

- オプトエレクトロニクス用部材および半導体関連電子部材の出荷は増加
- Park Electrochemical社（現 AGC Nelco社）およびTaconic社のプリント基板材料事業等が新規連結

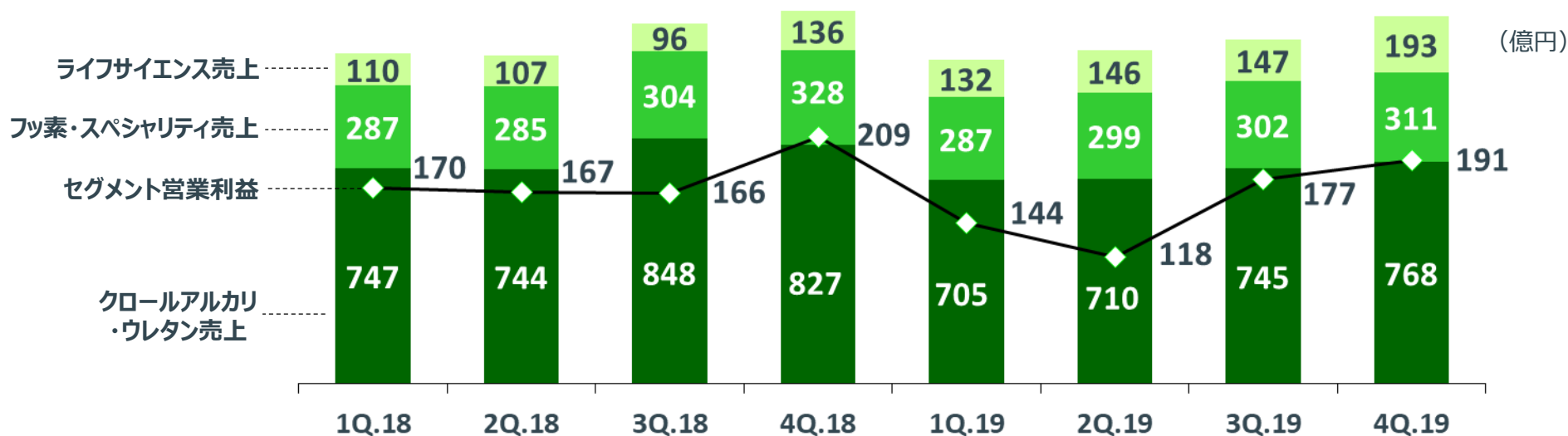
〔営業利益〕 増益

- 液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げに伴う減価償却費が増加
- オプトエレクトロニクス用部材や半導体関連電子部材、ディスプレイ用特殊ガラスの出荷が増加

化学品 セグメント (1)

	4Q			通期		
	FY2018	FY2019	増減	FY2018	FY2019	増減
売上高	1,295	1,275*	▲ 20	4,844	4,758*	▲ 86
クロールアルカリ・ウレタン	827	768	▲ 59	3,166	2,928	▲ 239
フッ素・スペシャリティ	328	311	▲ 17	1,205	1,199	▲ 6
ライフサイエンス	136	193	+ 57	449	617	+ 168
(セグメント間)	3	3		23	14	
営業利益	209	191	▲ 18	711	630	▲ 82

* うち、為替差影響は、4Q 売上高▲14億円、通期売上高▲28億円 連結範囲変更の影響は、4Q 売上高+29億円、通期売上高+76億円



【前年比】

〔売上高〕 減収

クローラルカリ・ウレタン

- 東南アジアでの苛性ソーダ販売価格が下落

フッ素・スペシャリティ

- 半導体関連製品向けフッ素樹脂の出荷が減少

ライフサイエンス

- バイオ医薬品原薬の製造開発受託件数が増加
- Malgrat Pharma Chemicals社（現 AGC Pharma Chemicals Europe社）が新規連結

〔営業利益〕 減益

- 東南アジアでの苛性ソーダの販売価格が下落
- 日本における定期大規模修繕や電力コストの上昇、台風影響などにより製造原価悪化

地域別業績 前年同期比較

	4Q			通期			(億円)
	FY2018	FY2019	増減	FY2018	FY2019	増減	
売上高	3,968	3,943	▲ 25	15,229	15,180	▲ 49	
日本・アジア	2,691	2,675	▲ 15	10,057	10,067	+ 10	
アメリカ	430	424	▲ 6	1,663	1,726	+ 64	
ヨーロッパ	847	844	▲ 3	3,510	3,387	▲ 122	
営業利益	335	280	▲ 55	1,206	1,016	▲ 189	
日本・アジア	388	369	▲ 19	1,383	1,217	▲ 166	
アメリカ	21	10	▲ 11	67	55	▲ 12	
ヨーロッパ	34	15	▲ 19	162	151	▲ 11	
地域共通費用	▲ 108	▲ 114	▲ 6	▲ 406	▲ 407	▲ 0	

地域別業績 前四半期比較

(億円)

	3Q.FY2019	4Q.FY2019	増減	増減%
売上高	3,863	3,943	+ 80	+2.1%
日本・アジア	2,617	2,675	+ 58	+2.2%
アメリカ	431	424	▲ 8	▲1.7%
ヨーロッパ	814	844	+ 29	+3.6%
営業利益	321	280	▲ 41	▲12.8%
日本・アジア	373	369	▲ 4	▲1.1%
アメリカ	8	10	+ 3	+36.2%
ヨーロッパ	37	15	▲ 22	▲58.7%
地域共通費用	▲ 96	▲ 114	▲ 18	-

2020年 通期業績の見通し

売上高	15,500億円	前年比 320億円 (2.1%) の増収
営業利益	1,200億円	同 184億円 (18.1%) の増益
税引前利益	1,070億円	同 308億円 (40.4%) の増益
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	690億円	同 246億円 (55.3%) の増益

- 戦略事業の出荷が増加
- 前期に発生した自動車用ガラスや化学品などの一時的な製造原価悪化要因が解消され、収益が改善

2020年 通期業績見通しの主要項目

(億円)	FY2019	FY2020 予想	増減	増減%
売上高	15,180	15,500	+320	+2.1%
(上期	7,375	7,500)		
営業利益	1,016	1,200	+184	+18.1%
(上期	415	500)		
税引前利益	762	1,070	+308	+40.4%
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	444	690	+246	+55.3%
一株当たり配当金 (円)	120	130		
営業利益率	6.7%	7.7%		
ROE	3.9%	6.0% ^{*1}		
為替レート (期中平均)	JPY/USD	109.1	110.0	
	JPY/EUR	122.1	120.0	
原油	\$/BBL(Dubai)	63.5	60.0	
エチレン	USD/MT (CFR SEA)	823	800	

*1 FY2020予想のROEは、2019年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

2020年 セグメント別 売上/営業利益見通し

	FY2019	FY2020e	増減	増減%
				(億円)
				増減%
売上高	15,180	15,500	+ 320	+ 2.1%
ガラス	7,429	7,200	▲ 229	▲ 3.1%
電子	2,767	3,000	+ 233	+ 8.4%
化学品	4,758	5,100	+ 342	+ 7.2%
セラミックス・その他	832	900	+ 68	+ 8.2%
営業利益	1,016	1,200	+ 184	+ 18.1%
ガラス	93	170	+ 77	+ 82.8%
電子	256	310	+ 54	+ 21.1%
化学品	630	700	+ 70	+ 11.1%
セラミックス・その他	39	20	▲ 19	▲ 48.7%

【ガラスセグメント】

〔売上高〕 減収

建築用ガラス

- 欧州で出荷が減少

自動車用ガラス

- 世界の自動車生産台数が前年並みとなることから、当社出荷も前年並み
- 車載ディスプレイ用カバーガラスは出荷が増加

〔営業利益〕 増益

建築用ガラス

- 欧州での需給バランス悪化を懸念

自動車用ガラス

- 日本の生産効率改善と素板設備修繕完了による製造原価改善
- 前期に計上した北米の減損損失により減価償却費が減少

【電子セグメント】

〔売上高〕 増収

ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板の出荷数量は中国での第11世代向け需要増により、市場成長以上に増加
- ディスプレイ用特殊ガラスはDragontrail®の出荷が前年並み

電子部材

- オプトエレクトロニクス用部材、半導体関連製品ともに出荷増加

〔営業利益〕 増益

- 液晶用ガラス基板は出荷数量は増加、販売価格下落幅はよりマイルドに
- 電子部材はオプトエレクトロニクス用部材、半導体関連製品を中心に業績拡大

【化学品セグメント】

〔売上高〕 増収

クローラルカリ・ウレタン

- 東南アジアでの需要増により出荷が増加

フッ素・スペシャリティ

- 半導体関連製品向けフッ素樹脂の出荷が増加

ライフサイエンス

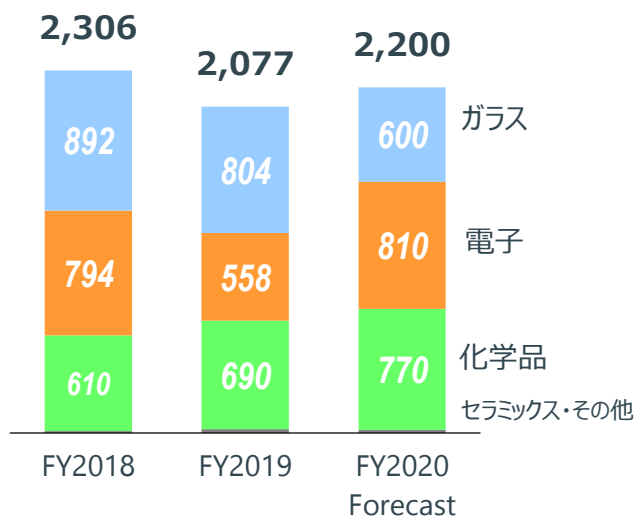
- 合成医農薬・バイオ医薬ともに、能力増強により出荷が増加
- 農薬市場の回復により出荷が増加

〔営業利益〕 増益

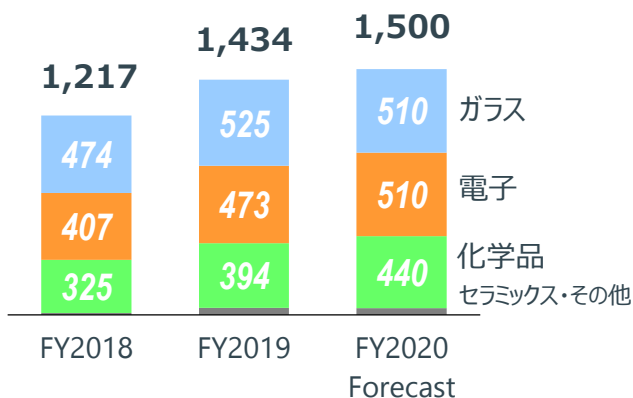
- クローラルカリの製造原価改善に加え、ライフサイエンスの出荷が増加

(億円)

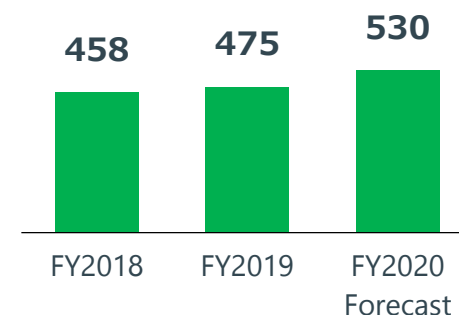
設備投資 (M&A除く)



減価償却費



研究開発費



付属資料

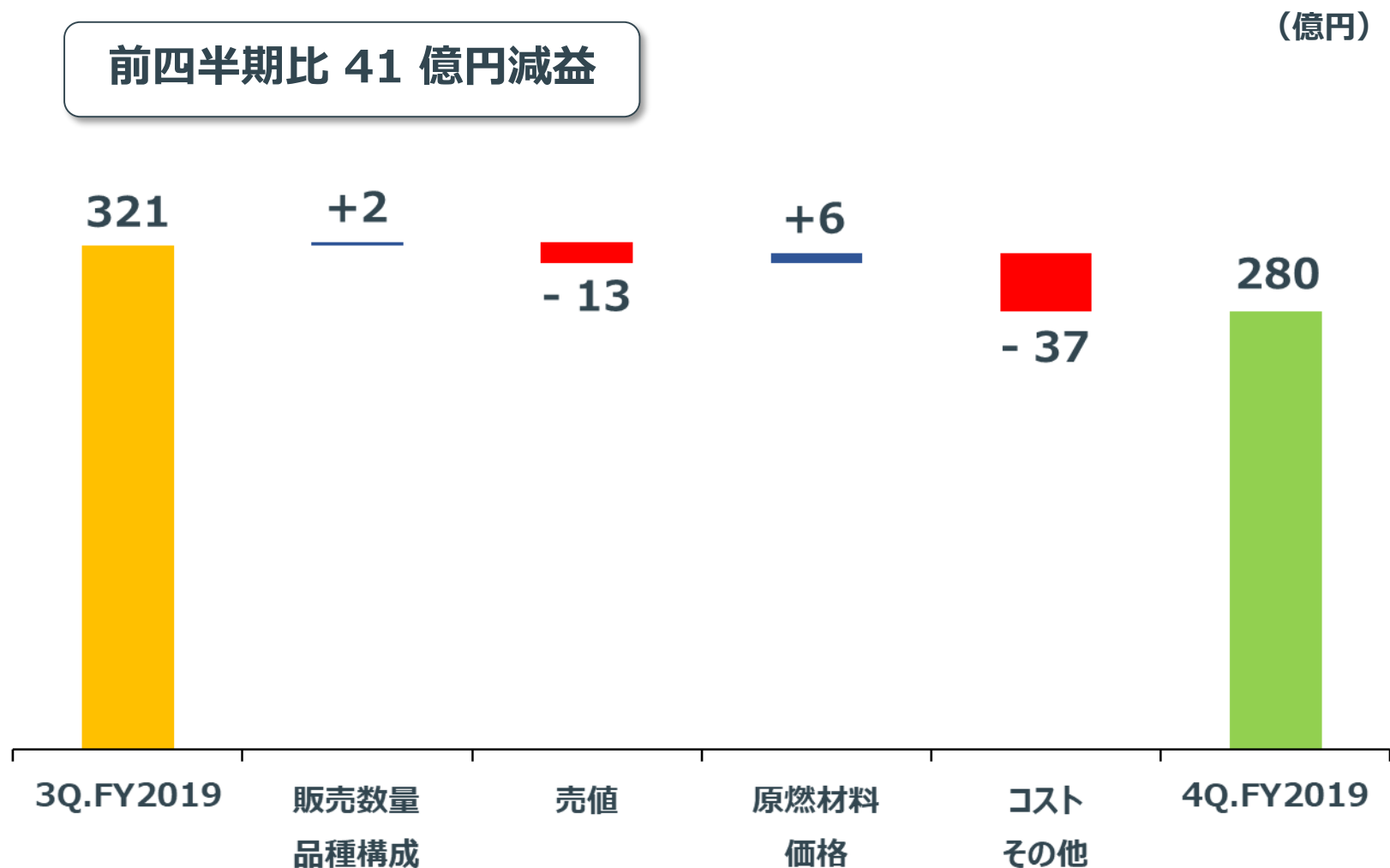
セグメント別業績 前四半期比較

(億円)

3Q.FY2019 4Q.FY2019 増減 増減%

売上高	3,863	3,943	+ 80	+2.1%
ガラス	1,840	1,837	▲ 3	▲0.2%
電子	761	760	▲ 1	▲0.2%
化学品	1,197	1,275	+ 77	+6.5%
セラミックス・その他	206	222	+ 16	
消去	▲ 142	▲ 151	▲ 9	
営業利益	321	280	▲ 41	▲12.8%
ガラス	23	▲ 4	▲ 27	▲117.9%
電子	109	87	▲ 23	▲20.7%
化学品	177	191	+ 13	+7.5%
セラミックス・その他	11	7	▲ 3	
消去	1	▲ 0	▲ 1	

営業利益増減要因分析(4Q.FY2019 vs. 3Q.FY2019)



売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	1-4Q.FY2019	1,228	461	1,838	-	3,527
		1-4Q.FY2018	1,182	464	1,943	-	3,589
	自動車ガラス	1-4Q.FY2019	2,063	704	1,116	-	3,883
		1-4Q.FY2018	2,109	725	1,263	-	4,097
		1-4Q.FY2019	3,290	1,165	2,954	20	7,429
		1-4Q.FY2018	3,291	1,188	3,206	13	7,698
電子	1-4Q.FY2019	2,452	192	9	115	2,767	
	1-4Q.FY2018	2,246	133	-	99	2,478	
化学品	1-4Q.FY2019	3,950	370	425	14	4,758	
	1-4Q.FY2018	4,176	341	304	23	4,844	
セラミックス・その他	1-4Q.FY2019	375	-	-	458	832	
	1-4Q.FY2018	344	-	-	447	790	
消去	1-4Q.FY2019	-	-	-	▲ 606	▲ 606	
	1-4Q.FY2018	-	-	-	▲ 581	▲ 581	
合計	1-4Q.FY2019	10,067	1,726	3,387	-	15,180	
	1-4Q.FY2018	10,057	1,663	3,510	-	15,229	

売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	4Q.FY2019	338	112	456	-	905
		4Q.FY2018	346	124	494	-	964
	自動車ガラス	4Q.FY2019	497	169	257	-	923
		4Q.FY2018	541	167	277	-	985
		4Q.FY2019	835	280	713	9	1,837
		4Q.FY2018	887	291	771	4	1,953
電子	4Q.FY2019	677	57	2	24	760	
	4Q.FY2018	595	40	-	34	670	
化学品	4Q.FY2019	1,056	86	129	3	1,275	
	4Q.FY2018	1,117	99	76	3	1,295	
セラミックス・その他	4Q.FY2019	107	-	-	116	222	
	4Q.FY2018	92	-	-	110	202	
消去	4Q.FY2019	-	-	-	▲ 151	▲ 151	
	4Q.FY2018	-	-	-	▲ 152	▲ 152	
合計	4Q.FY2019	2,675	424	844	-	3,943	
	4Q.FY2018	2,691	430	847	-	3,968	

為替換算・連結範囲変更の影響（前年同期比較）

(億円)

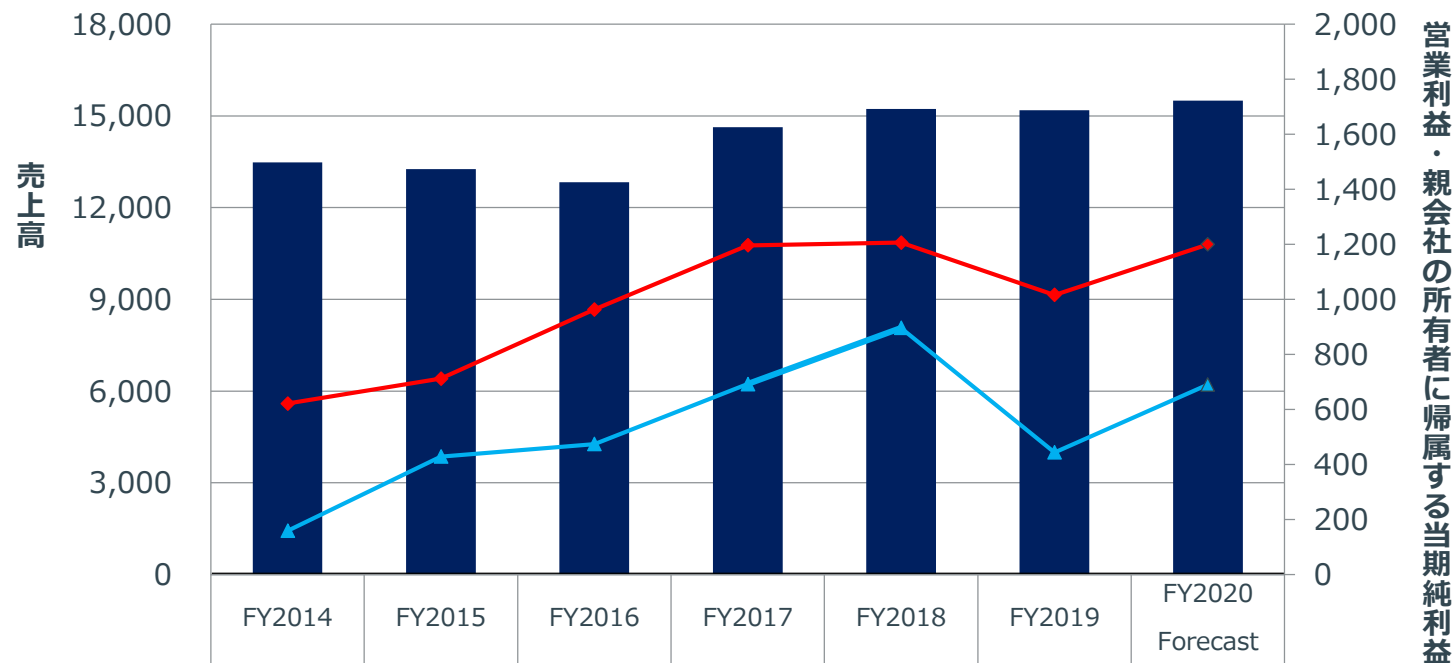
売上高	全社計*	ガラス	電子	化学品
FY2019	15,180	7,429	2,767	4,758
前年比	▲ 49	▲ 269	+ 288	▲ 86

[以下影響を除く前年比]	+ 32	▲ 1	+ 144	▲ 135
為替換算の影響	▲ 304	▲ 268	▲ 3	▲ 28
連結範囲変更の影響	+ 223	+ 0	+ 147	+ 76

*全社計には、セラミックス・その他、および消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しません

通期業績の推移

(億円)



■ 売上高	13,483	13,263	12,826	14,635	15,229	15,180	15,500
◆ 営業利益	621	712	963	1,196	1,206	1,016	1,200
▲ 親会社の所有者に帰属する当期純利益	159	429	474	692	896	444	690
営業利益率	4.6%	5.4%	7.5%	8.2%	7.9%	6.7%	7.7%
一株当たり配当金	¥90	¥90	¥90	¥105	¥115	¥120	¥130

*当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。
一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

		IFRS				
		15/12	16/12	17/12	18/12	19/12
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	3.9%	4.3%	6.1%	7.7%	3.9%
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	3.5%	4.8%	5.7%	5.4%	4.4%
自己資本比率	%	55%	55%	53%	51%	50%
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.40	0.37	0.38	0.43	0.47
営業CF/有利子負債	倍	0.40	0.47	0.42	0.35	0.32
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	185.60	205.14	302.12	399.51	200.85
EBITDA *4	億円	2,284	1,958	2,499	2,594	2,319

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

為替レート		FY2018					FY2019				
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間
円/ドル	期中平均	108.30	109.07	111.46	112.90	110.43	110.20	109.90	107.35	108.76	109.05
	期末	106.24	110.54	113.57	111.00	111.00	110.99	107.79	107.92	109.56	109.56
円/ユーロ	期中平均	133.22	130.06	129.63	128.78	130.42	125.15	123.49	119.34	120.32	122.07
	期末	130.52	127.91	132.14	127.00	127.00	124.56	122.49	118.02	122.54	122.54

発表日	内容
2月6日	剰余金の配当（増配）に関するお知らせ
2月19日	米国Taconic社のADD部門グローバルオペレーションを買収
3月4日	スペイン合成医薬品原薬製造会社Malgrat Pharma Chemicals社の買収を完了
4月2日	株式の売出しに関するお知らせ
5月20日	ミリ波向け超低伝送損失フレキシブルアンテナ設計技術を開発
5月24日	「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言への賛同を決定
5月29日	世界初、28GHz帯に対応する5G端末向けのガラスアンテナで通信に成功
5月31日	「AGC 統合レポート2019」を公開
6月12日	米国Taconic社のADD部門グローバルオペレーション買収を完了
7月23日	国内建築用ガラス関連製品の価格を改定
7月30日	通期連結業績予想の修正に関するお知らせ
9月12日	大型3D・複雑形状の車載ディスプレイ用カバーガラス生産拠点を中国に新設
10月1日	ドコモとAGC、『窓を基地局化するガラスアンテナ』によるサービスエリア提供を開始
10月8日	減損損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ
10月9日	独自のデータサイエンティスト育成プログラム「Data Science Plus」を確立
11月11日	米国・欧州バイオ医薬品生産拠点の設備増強を決定
12月9日	セントラル硝子株式会社との国内建築用ガラス事業統合に係る基本合意書締結に関するお知らせ



Your Dreams, Our Challenge

END

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。